

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

地域全体の教育力を向上へ

～北秋田市生涯学習奨励員委嘱状交付式～

平成29年度北秋田市生涯学習奨励員委嘱状交付式および北秋田市生涯学習奨励員協議会が、5月29日に市民ふれあいプラザで行われました。

交付式では、北秋田市生涯学習推進本部長の津谷市長が委員一人一人に委嘱状を手渡し「地域全体の教育力の向上と、地域コミュニティの再構築を図るために、様々な分野で活躍されている皆さんのお力添えをいただけますよう、よろしくお願ひしたい」などとあいさつを述べました。

続いて行われた生涯学習奨励員協議会では、事務

局から昨年度の事業報告や今年度の事業計画を説明し、委員からは要望や意見が出されました。



▲委嘱状の交付を受ける委員

青少年育成功労者表彰を受賞

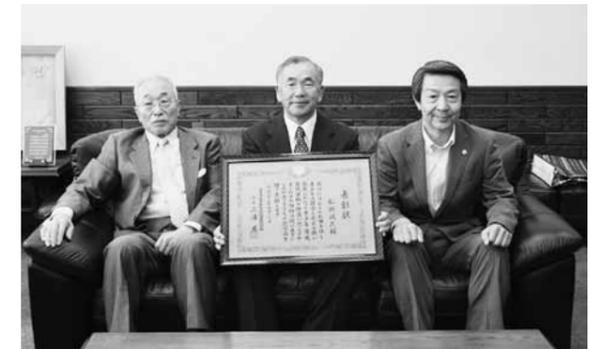
～青少年育成活動に尽力～

平成29年度青少年育成秋田県民会議の青少年育成功労者表彰を受賞した松岡誠三さん（69歳・合川）が、5月31日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

松岡さんは、平成9年から青少年育成合川町民会議理事として活動し、青少年育成北秋田市民会議合川支部副支部長を経て、現在は青少年北秋田市民会議副会長および合川支部長を務められています。

松岡さんは「皆さんのおかげで受賞することができました。私は、子どものことが好きなので、これ

からも子どもたちのために奉仕を続けていきたい」などと感謝の言葉を述べました。



▲津谷市長に受賞を報告した松岡誠三さん(中央)

心はぼかぼか、お顔はにっこり

～定期講座「パステル和アート教室」～

定期講座「パステル和アート教室」が6月9日から市民ふれあいプラザでスタートし、受講生11人が参加しました。

この講座では、秋田市在住でパステル和アートインストラクターの高橋みどり先生を講師にお迎えし、12月まで季節に合わせた作品を作ります。

受講生の中には、はじめて和艺术を作る方が多く、先生から色の塗り方などを教わりながら、傘とさくらんぼを題材にした作品作りに挑戦しました。作品が出来上がり、受講生全員の作品がホワイト

ボードに貼られると「近くからだけじゃなくて、遠くから見るのもいいね」などと声があがりました。



▲和艺术に挑戦する受講生

平成29年度北秋田市成人式

日時 8月15日(火) 14時30分～

会場 北秋田市文化会館

対象 平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた市内在住者及び市内出身で市内中学校、国際情報学院中学校を卒業された方
※中学校の卒業名簿などをもとに案内を送付していますが、該当する方で通知が届いていない方は、7月14日(金)までにご連絡ください。
◎成人式の協力を募集しています。皆さんの手で思い出に残る成人式にしましょう。

超大型絵本『おまえうまそうだな』がやってくる!

日時 7月9日(日)

絵本作家の塚本やすし先生とかがいけつゾロリがやってきました。ワークシヨップ『おすしを作ろう』にもチャレンジ！親子での参加をお待ちしています。

日時 7月9日(日)
10時～ おはなし会・超大型絵本
11時～ 撮影会
13時30分～ おはなし会
14時～ ワークシヨップ『おすしを作ろう』

会場 市民ふれあいプラザ

第29回合川芸文祭

日時 7月16日(日)

会場 合川公民館

開演 10時30分(開場10時)
展示 合川俳句会、陽だまりの華、合川華道部
演示 歌謡、舞踊、音楽団、太鼓ほか
特別出演 秋田北鷹高校吹奏楽部
おやかたさ集まるべ講座
おさるべ元気くらぶ長岐賢一
日時 7月8日(土) 15時～
会場 七日市長岐邸
講師 立正大学 栗原健一氏
参加費 200円(資料代)
「きのみやさままつりとお話し会」
日時 7月24日(月) 10時30分～
※12時より、きのみやさまお参り
開場 七日市長岐邸
演題 「長岐邸にゆかりの人々」
講師 佐藤 俊晃氏
参加費 200円(資料代)
参加者全員に火伏のお札を差し上げます。

ふるさとの文化財

「縄文時代編」

○石棒(漆下遺跡出土)

石棒は縄文人の精神文化にかかわる道具の一つです。一般に棒状に加工した石の一端に装飾のある頭部を作り出したもので、その形状から男性の性器を表したものと考えられています。大きなものは2mを超えるものもあります。何らかの儀式や呪術、まつりなどで象徴的に用いられ、時期や地域によってその持つ意味は一様でなかったと推測されています。また完全な形のものや精巧な細工のある頭部を持つ石棒は、一つの遺跡から何点も見つかるわけではなく、お墓の中に収められているものがあることから、集落内にある程度の身分や特殊な地位にあった人が所持していたものと思われる。

下段の写真は、漆下遺跡で出土した石棒です。様々な道具が投棄された盛土の中から完全な形で見つかりました。長さ73cm、重さは2.2kgあります。今から三千数百年前頃の縄文時代後期後半のもの

18

のと推定されます。非常に硬い石材をコツコツと打ち欠き、形を整え、研磨して仕上げています。中程がやや膨らむ丸棒形で、両端に細かな線刻の施された精巧な頭部が作られています。



漆下遺跡から出土した石棒

石棒は、市内の多くの遺跡で見つかっていますが、途中で折れるなど壊れた状態のものがほとんどです。このように精巧で大型の石棒が完全な状態で出土した例はあまりありません。

縄文時代の漆下集落で中心的な役割を担った人物が、儀仗としてこの石棒を携え、儀式やまつりを執り行った様子が思い浮かぶようです。

この石棒は縄文館に展示中です。頭部の精巧な細工をぜひご確認ください。

▽紹介者/北秋田市教育委員会生涯学習課文化係